

	課題分析	授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読むことに個人差があり、内容の理解も比例している。</li> <li>書くこと（特に長音、促音、拗音、助詞）の定着に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読カードに観点を示す。また、授業では言葉のまとまりを意識して範読を聞かせたり、教師を真似て読んだりすることを繰り返す。スムーズに読めるようにし、文章の内容理解を深められるようにする。</li> <li>文や言葉を書く際は、助詞や句点などを意識させる。また、長音や促音など児童が苦手と感じる内容について朝学習などを活用し、繰り返し練習をする。これらを通して考えを書く場面で、自分の思いをスムーズに表現できるようにする。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや思いを文章に表す際に、文章構成を意識して書くことに課題がある。</li> <li>漢字の読み書きや「わ」「は」の使い方など言葉の定着には個人差が見られる。</li> <li>自分の考えを、根拠（理由）を示して言えるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き方の例を示したり、書きやすいワークシートを用意したりすることで、文章構成を指導し、定着を目指す。</li> <li>漢字の学習だけでなく、作文など文章を書く時間に既習漢字を使うことや正しい表記の仕方を繰り返し指導する。</li> <li>自分の考えの根拠となる部分にサイドラインを引いたり、話し合いのメンバーを少なくしたりする。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語文では、登場人物の行動や気持ちを叙述から読み取ろうとする児童が多くみられる。しかし、叙述から離れ、自分の想像で読み取りをする児童もいる。</li> <li>文章を書くことが苦手とする児童がいる。考えが整理できなかつたり、話せるが文に書き表すことができなかつたりする様子が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の気持ちが分かる文章に線を引き、着目すべきところを可視化する。また、授業をすすめる際に、教科書のどこを基に考えたのか発表できるように習慣化する。</li> <li>全体で文例を読み、どのように文章を構成したらよいか確認していく。苦手な児童には一緒に構成メモを作り、考えを整理できるように支援していく。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語文では、登場人物の行動や気持ちを、叙述を基に捉えようとする児童が多く見られる。しかし、叙述から離れている児童もいる。</li> <li>意見交流の場では、意見を伝え合うことはできるが、意見を整理して文章に書き表すことを苦手としている児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や視点を明確にし、感情や様子が分かる文章には線を引きながら、読ませるようにする。</li> <li>書くことが苦手な児童に対しては、書き方の例を示す。また、書く力や読み取る力を身に付けさせるために、読書量を増やすように促す。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えて書くことができない児童がいる。</li> <li>筆者の考えや登場人物の気持ちを丁寧に読み取ったりする力に課題がある。</li> <li>とめ、はね、はらいに気を付けて書くことや、語句を正しく書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語だけでなく、体育や家庭科など様々な教科で振り返りを文章化させることで、書くことに慣れさせていく。</li> <li>根拠となる部分を本文から見つけられるように繰り返し指導していく。</li> <li>漢字や語彙の意味を丁寧に確認していく。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。</li> <li>文章を読んで理解したことに基づいて自分の意見をまとめることに課題がある。</li> <li>とめ、はね、はらいなどに気を付けて正しく丁寧に語句を書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語だけでなく、算数や理科などでも図表やグラフの内容から読み取ったことをまとめる活動を多く取り入れていく。</li> <li>物語や説明文の内容から読み取ったことをまとめたり、互いに意見を交流したりして、考えを広げる活動を取り入れる。</li> <li>漢字の学習やノート指導を行う際に、とめ、はね、はらいを意識して丁寧に書けるよう促す。</li> </ul>